

短期研修生募集案内

(公財) 自然農法国際研究開発センターでは、自然農法の短期研修生を下記の要領で募集しています。

申し込みに当たっては、「短期研修願書(別紙)」に必要事項を記入し、医師による健康診断書を添えて、下記宛てに郵送して下さい。

【研修願書送付先】

〒390-1401 長野県松本市波田5632番地1

(公財) 自然農法国際研究開発センター

研究部研修課 宛

短期研修は、本科研修に準じ、研究圃場における作物栽培や圃場管理作業を通じて、自然農法の実際と作物や田畑の自然観察の体験・修得をしていただきます。

申し込み資格 : 30歳程度までの独身者で、高卒程度の学力を有し、身体強健で通院を伴う疾病のない人。※年齢は相談にのります。

募集人員 : 若干名(年度によって異なります)

受け入れ期間 : 毎年 4月上旬～11月下旬までの随時

※おおむね1ヶ月～3ヶ月の月単位とし、期間は相談で決めます。

原則として、日曜祝祭日、土曜日(月2回)は休日となりますが、研修内容によっては作業を行う場合があります。

受け入れ場所 : (公財) 自然農法国際研究開発センター農業試験場(長野県松本市)

生活について : 全寮制(しなの研修寮 または あずみ研修寮、賄い有り)

※寮の使用状況によってお断りする場合があります。

研修費用 : 1ヶ月未満 30,000円

1～3ヶ月 25,500円(月額)

その他の費用 : 作業着、長靴等は各自で準備して下さい。

※その他の経費は原則当センターで負担します。

研修コース : 研修は下記の3つのコースから選択していただきます。

※希望に添えない場合もあります。

(1) 野菜栽培コース

作物の播種から収穫までの栽培管理、作物の切り替え等の作業を通して、耕地生態系の特徴と働きを利用した、露地野菜と麦類や大豆などの作物の複合的な畑作の実習を行います。

(2) 水稻栽培コース

水稻の播種から収穫、育土等の栽培管理を通して、イネの基本生理や雑草生態を学び、水田の生態系を維持・発展させる水稻生産技術について実習を行います。

(3) 自家採種コース

タネまきからタネとりまでの圃場管理と栽培、系統の選抜を通して、自然農法栽培に適した種子を得るための採種技術と、交配や系統選抜など種子育成の基礎について実習を行います。

募集期間 : 毎年 4月 1日～ 9月末日 ※ただし終了は本科研修期間内とします。

応募に必要な書類 :

- 研修願書 (1通)
- 健康診断書 (1通) ※下記内容で、様式・書式は受診機関発行のもので結構です
 - ①身長・体重・視力・聴力
 - ②尿検査
 - ③血圧測定
 - ④血液検査
 - ・ 脂質 (中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール)
 - ・ 肝機能 (GOT、GPT、 γ -GTP)
 - ・ 血液一般 (赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、血清鉄)
 - ・ 代謝系 (空腹時血糖、ヘモグロビンA1C、血清尿酸)
 - ・ 腎機能 (クレアチニン)
 - ⑤胸部X線撮影 (所見異常の有無)
 - ⑥心電図 (異常の有無)

以上

(公財)自然農法国際研究開発センター
研究部 研修課 (kenkyu@infrc.or.jp)
〒390-1401 長野県松本市波田 5632-1
TEL 0263-92-6800 FAX 0263-92-6808